

県学校給食会に1383万円

J A岐阜中央会 地産地消を推進

J A岐阜中央会は、「学校給食地産地消推進事業」の助成金贈呈式を、岐阜市宇佐南のJ A会館で行い、県学校給食会に1383万3千円を贈った。

事業は、県内の小中学校の児童、生徒に学校給食を通して県産農産物に親し

み、継続的に消費してもらおうと中央会と県、県内の42市町村が行う。学校給食で使用する県産のハツシモやコシヒカリなどの玄米、小麦粉、野菜、牛肉や豚肉などの購入経費の一部を助成してい

る。中央会は、総事業費の3分の1を助成。中央会の櫻井宏会長が、給食会の永治友見理事長に目録を手渡した。櫻井会長は「児童、生徒に将来にわたって地産地消に愛着を持ってもらいたい」と話し、永治理事長は「学校給食を通し、県産農産物への関心を高めることに貢献したい」と述べた。

(小森孝美)



学校給食地産地消推進のための助成金を永治友見理事長に手渡した櫻井宏会長(右)＝岐阜市宇佐南、J A会館